



DEEBOT **N50** OMNI

取扱説明書

取扱説明書.....	JA		P04
Instruction Manual	EN		P31

その他の言語の取扱説明書については、<https://www.ecovacs.com> をご覧ください。

For the Instruction Manual in further languages, visit: <https://www.ecovacs.com>.

安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

電気製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、すべての指示をお読みください。

本取扱説明書は保存してください

1. 本製品は、安全な使用方法について監督または指導を受け、使用に伴う危険性を理解している場合に限り、8歳以上のお子様、および身体的、感覚的、精神的な能力に制限がある方、または経験や知識が不足している方もお使いいただけます。お子様が本製品で遊ばないようにしてください。監督なしにお子様が清掃やお手入れを行わないようにしてください。
2. 清掃する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。
3. カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテーブルクロスなどは床から離してください。
4. 清掃するエリアに段差や階段がある場合は、本製品を操作して本製品が段差を検知して落下し

ないことを確認してください。ユニットが落下しないように、端に物理的な障壁を設置する必要があります。その物理的な障壁によってつまずく危険性がないようにしてください。

5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。製造元によって推奨あるいは販売されているアタッチメントのみを使用してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品を屋外、商業用途、または産業用途で使用しないでください。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で本製品を使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
11. 極端な高温または低温の環境（-5℃/23℉未満、または40℃/104℉を超える環境）で使用または保管しないでください。ロボットの充電は0℃/32℉～40℃/104℉の温度環境下で行ってください。

12. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に、石や大きな紙片などの大きな物、または本製品を詰まらせるおそれのある物を吸引させないでください。
14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
15. タバコ、マッチ、熱い灰、その他発火の原因となる可能性のある物質を本製品に吸わせないでください。
16. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にゴミ、糸くず、髪、その他空気の流れを悪くする可能性のある物体がたまらないようにしてください。
17. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
18. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
19. CH2471B に適合するリチウムバッテリーは、最大 8 セル、最大公称電圧 DC 14.4V、定格容量 4,800 mAh のものです。本製品を破棄する

- 前に、バッテリーを取り外し、ご使用の地域の法令および規制に従って廃棄してください。
20. 使用済みのバッテリーは、各自治体の法規制に従って廃棄してください。
21. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
22. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
23. ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
24. ご使用環境の電源の電圧が、OMNI ステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
25. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび OMNI ステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
26. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や OMNI ステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだ

まま部屋の扉を締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、高温の表面から離れた場所に置いてください。

27. OMNI ステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。
28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または OMNI ステーションが適切に動作しない場合、落下した場合、損傷した場合、屋外に放置された場合、または水に接触した場合は使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
29. OMNI ステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
30. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を OMNI ステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
31. OMNI ステーションを長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

32. ロボットを長期間使用しない場合は、ロボットの電源をオフにして保管し、OMNI ステーションの電源プラグを抜いてください。
33. 警告—清水タンクにはきれいな水だけを入れてください。
34. **警告:** バッテリーの充電には、本製品に付属の取り外し可能な電源ユニット CH2471B のみを使用してください。

高周波 (RF) 曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はおすすめしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

デバイスの更新

通常、一部のデバイスは 2 ヶ月ごとにアップデートされますが、時期ははっきりと決まっていません。一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。現在のソフトウェアバージョンを確認し、自動更新を有効にするには、アプリで「設定」>「ロボットの詳細

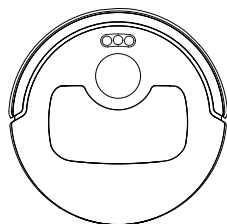
設定」>「ロボットについて」>「更新」の順に進んでください。現在のバージョンが表示されます。「更新」をタップして画面を開き、「自動更新」を選択して有効にしてください。

	注意:表面が熱くなります
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

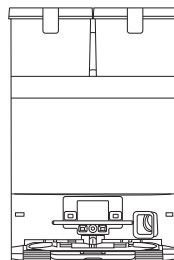
リモート監視は、公共の場ではない私有の場所で純粋な自己防衛と単独管理のみを目的とした、完全な個人使用のためのものです。ご使用の際は、現地のデータ保護法が定める義務にご注意ください。特に、正当な理由なく、公共の場を隠れて、または雇用者として監視してはいけません。正当な理由なく使用する場合は、使用者がそのリスクと責任を単独で負うものとします。

パッケージ内容

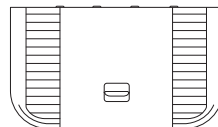
① パッケージ内容物



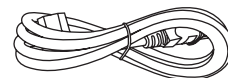
ロボット



OMNI ステーション



ベース



電源コード



サイドブラシ



取扱説明書

* 本取扱説明書の図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

② 製品構成

ロボット

ナビゲーション
モジュール

障害物回避
モジュール

トップカバー

本体のボタン

バンパー

ボタン

🏠 押す:ステーションに戻る
(ロボットがステーションにない場合)

⏻ 押す:開始 / 一時停止 / 再開の切り替え

🕒 押す:スポットクリーニングの開始 / 終了

長押しする:セルフクリーニングの開始

長押しする:電源オン / オフ

長押しする:チャイルドロックの有効化 / 無効化

ロボット内部(ステーションカバーの下)

リセットボタン

ネットワーク設定: リセットボタンを押すと、ロボットをアプリに接続するよう案内する音声ガイダンスが流れます。

デフォルト設定に戻す: リセットボタンを5秒間長押しします。音声ガイダンスの後に起動音が流れ、ロボットがデフォルト設定に戻ります。

ネットワーク状態表示 /
リセットボタン

充電端子

給水ポート

エッジセンサー

底面背面

落下防止センサー

カーペットセンサー

ローラーブラシ

モップパッドアセン
ブリーの取り付け
用スロット

キャスター

サイドブラシ

ブラシリリース
ボタン

駆動輪

ダストボックス

フィルター

ダスト排出口

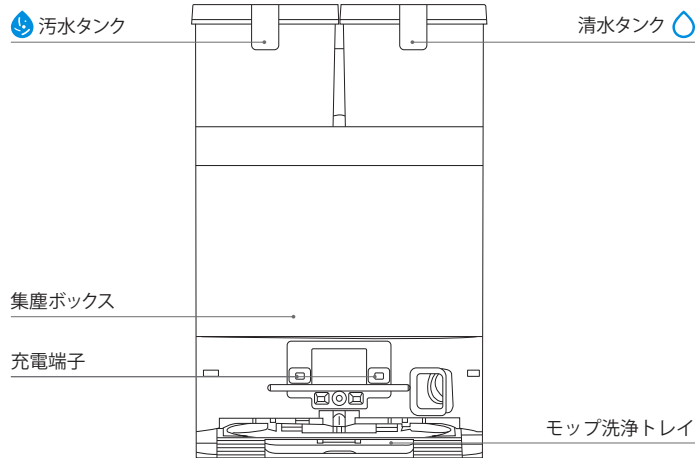
解除ボタン

モップパッドアセンブリー

モップパッドホルダー

洗えるモップパッド

OMNI ステーション

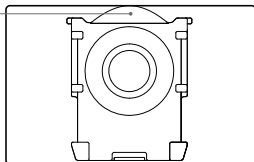


注:

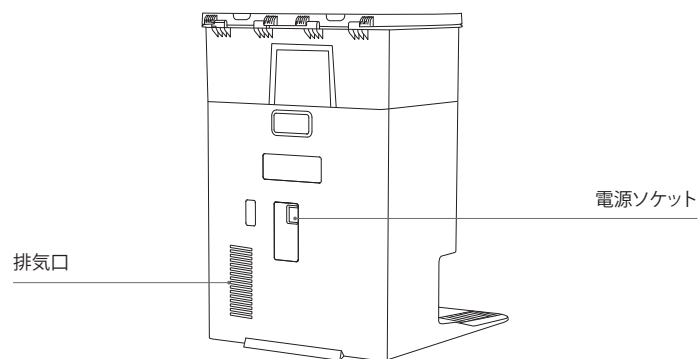
- ロボットが充電されない場合は、充電端子をきれいな乾いた布クロスで拭いてください。

ダストバッグ

ダストバッグの取っ手



OMNI ステーション(背面)



③ 表示ランプ

	ライトの状態	ステータス
ロボット	白色でゆっくり点滅	充電中
	白色で点灯	フル充電/走行中
	赤色で点灯	電池残量が少なくなっています
	赤色で点滅	ロボットアラーム
	赤色でゆっくり点滅	ステーションアラーム

4 センサーの概要

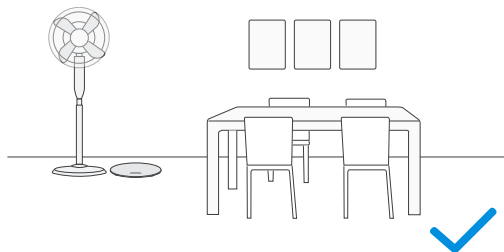
部品名	機能の説明
ナビゲーションモジュール	レーザー測距により、反射時間の差に基づいてロボットと周囲の物体との距離を測定し、ロボットの移動中に周囲の物体をマッピングします。検知範囲は8 mです。
障害物回避モジュール	レーザー測距と三角測量により、ロボットと周囲の障害物との距離を測定します。センサーはレーザー光を照射し、前方の障害物からの反射光を受光します。至近距離で障害物を検知すると、ロボットは自動的に方向を変えて回避します。検知範囲は0.3 mです。
落下防止センサー	赤外線測距により、ロボット底面の赤外線センサーがロボット底面から床までの距離を検知します。前方に階段がある場合（白い床面で高さ55 mm以上、黒い床面で高さ30 mm以上など）、検知した高さが設定値を超えると、ロボットは前進せず、落下防止機能が働きます。
カーペットセンサー	このセンサーは 300 kHz の超音波を発信します。そのエネルギーはカーペットに吸収されるため、反射エネルギーは閾値より低くなります。これによりロボットはカーペットの存在を検知します。ECOVACS ラボのテストによると、市販されている 50 種類以上のカーペットを識別できます。
衝突防止センサー	オプティカプラススイッチの原理により、ロボットは障害物に衝突しそうになると回避します。
エッジセンサー	赤外線測距により、エッジセンサーがロボットと側方の物体との距離を検知します。右側に壁や障害物がある場合、ロボットはエッジ清掃を行い、清掃し残しを防ぎ、衝突を回避します。

初期設定と使い方

① 清掃前の注意事項

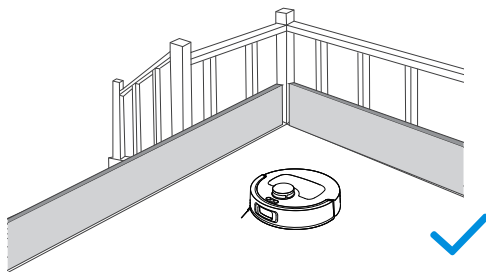
清掃する場所を片付ける

できるだけ広い範囲を清掃できるよう、ロボットをご使用になる前に、テーブル、椅子、扇風機などの家具を所定の位置に戻し、体重計などの背の低い物を片付けてください。



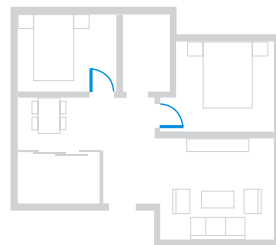
ロボットが落下しないようにする

階段や段差などの高低差がある場所には物理的な障壁を設置し、ロボットが落下しないようにしてください。



ドアを開けて、ロボットが家全体を探索できるようにする

初めて清掃する際は、ロボットが家全体を十分に探索できるように、すべての部屋のドアを開けてください。



清掃効率を高めるため、床にあるケーブル、衣類、スリッパなどを片付けてください。



縁に房飾りのあるカーペットの上で本製品を使用する場合は、房飾りをカーペットの下に折り込んでください。



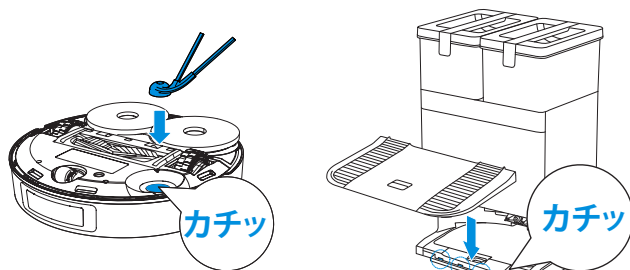
TrueMapping を妨げないよう、廊下などの狭い場所に立たないでください。

② クイックスタート

使用する前に、保護材をすべて取り外してください。

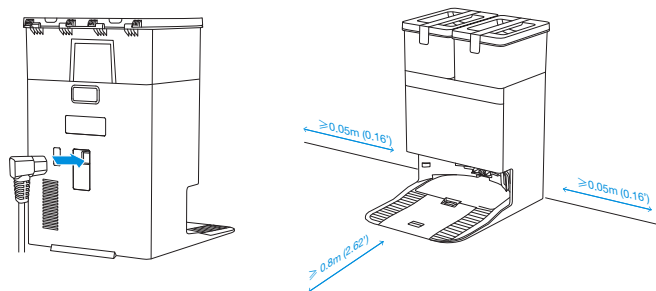
1. 取り付け

「カチッ」という音がしたら、正しく取り付けられています。



2. ステーションの組み立てと配置

OMNIステーションを、平らで硬い床面に壁に寄せて設置してください。左右0.05 m以内および前方0.8 m以内には物を置かないでください。

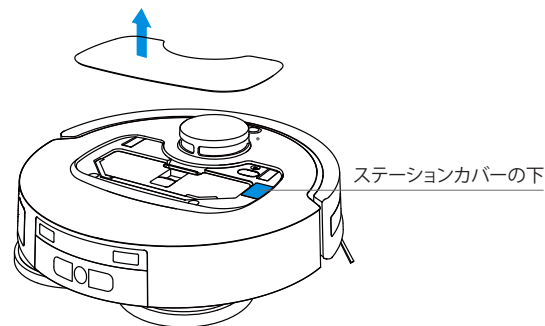


- 鏡や反射性のある幅木など、光を反射する物がステーションの近くにある場合は、それらの下部 14 cm を覆ってください。
- ステーションを直射日光の当たる場所に置かないでください。
- より快適に使用するため、Wi-Fi 信号が強い場所にステーションを設置してください。
- 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
- ロボットおよびステーションは、湿った布で拭いたり、液体を使用して清掃したりしないでください。

③ ECOVACS HOME アプリのダウンロード

利用可能なすべての機能をご利用いただくには、ECOVACS HOME アプリでロボットを操作することをおすすめします。

1. トップカバーの下の QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードします。



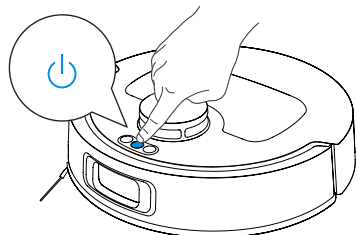
2. App Store または Google Play で「ECOVACS HOME」を検索し、アプリをダウンロードします。



注: アプリの指示に従って、登録、ログイン、接続を完了してください。

4 ロボットの電源を入れる

1. 電源スイッチを入れ、電源に接続したステーションの前にロボットを置きます。



5 ロボットをアプリに接続する

部品名	説明
赤外線インターフェース	赤外線インターフェースはデフォルトでオフになっています。ロボットが充電ドックに戻るとオンになります。DEEBOT が充電ドックにあるときに、赤外線インターフェースを介して充電ドックと通信します。
Wi-Fi ネットワーク設定 *	アプリとロボット間のデータ転送を可能にし、アプリでロボットを操作できるようにします。
ECOVACS HOME アプリ	ECOVACS 製品は、ネットワーク設定、マッピング、清掃モード選択などのスマート機能を提供します（機能は製品ごとに異なります）。これらの機能を利用するには、公式の ECOVACS HOME アプリをダウンロードして使用する必要があります。

● 本シリーズのロボット掃除機は、家庭での清掃を目的として設計されています。操作には家庭用Wi-Fiネットワークが必要です。また、ユーザーはルーター設定でDDoS攻撃対策を設定できます。

Wi-Fi ネットワークの要件:

- 2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用していること。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルに対応していること。
- VPN (バーチャルプライベートネットワーク) やプロキシサーバーを使用しないください。
- 非公開ネットワークを使用しないでください。
- WPA および WPA2 は、TKIP、PSK、AES/CCMP 暗号化方式を使用します。
- WEP EAP (エンタープライズ認証プロトコル) には対応していません。
- 北米では Wi-Fi チャンネル 1 ~ 11、北米以外では Wi-Fi チャンネル 1 ~ 13 を使用してください (地域の規制機関に従ってください)。
- ネットワークエクステンダー/リピーターを使用している場合は、ネットワーク名 (SSID) とパスワードをメインネットワークと同じにしてください。
- ルーターで WPA2 を有効にしてください。

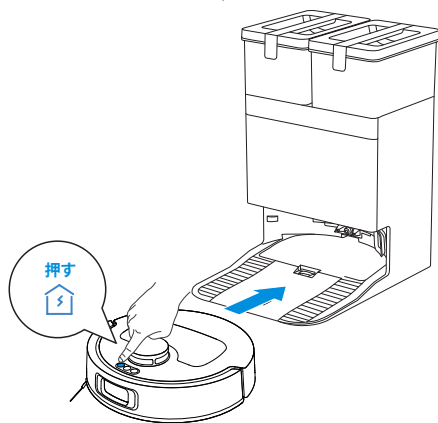
Wi-Fi表示灯

	白色でゆっくり点滅	Wi-Fi 接続なし
	白色で素早く点滅	接続中
	白色で点灯	Wi-Fi 接続済み

遠隔起動、音声操作、2D/3Dマップの表示と制御設定、パーソナライズされた清掃 (製品によって異なります) などのインテリジェント機能には、常に更新されている ECOVACS HOME アプリが必要です。お客様が ECOVACS HOME アプリの特定の機能を使用して本製品を操作できるようにするには、当社がお客様の基本的かつ必要な情報の一部を処理するために、当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意する必要があります。当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意いただけない場合、上記の機能はご利用いただけません。ただし、手動操作で本製品の基本機能を引き続き使用できます。

⑥ ロボットの電源を入れて充電する

ECOVACS HOMEアプリでロボットを呼び戻すか、本体の  ボタンを押して、充電のためにステーションへ戻します。

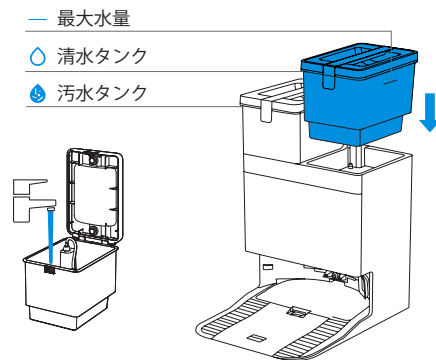


注:

- ロボットを使用しないときは、電源をオンにしたまま充電しておいてください。
- ステーションから清掃を開始することをおすすめします。清掃中はステーションを動かさないでください。

⑦ 清水タンクに水を入れる

清水タンクを取り出し、水タンクカバーを開け、タンクに最大水量まで水を入れます。水タンクカバーを閉じ、清水タンクを再度取り付けます。



注:

- タンクを取り付ける前に、きれいな乾いた布クロスでタンク表面の水分を拭き取ってください。
- 使用前に、両方の水タンクの上部カバーを確実にロックしてください。
- 水タンクに水跡がある場合がありますが、機能テストによるものです。安心してお使いください。

⑧ ロボットを操作する

1. マッピングの開始

初めてマップを作成するときは、ロボットに付き添い、非友好的問題が発生した場合は必要に応じて対応してください。

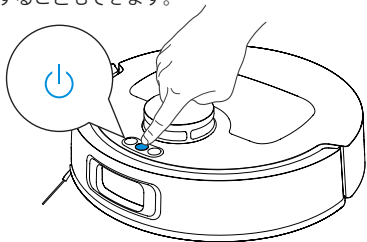
例えば、ロボットは家具の下に入って動けなくなることがあります。次の解決策を参考にしてください。

- ① 高さの低い家具は、可能であれば持ち上げて高くします。
- ② 家具の下部に覆いをかけます。
- ③ アプリで仮想壁を設定します。

2. 清掃の開始

- ロボットの水タンクは、ステーションから自動で給水されます。手動で補充する必要はありません。
- 水拭き中、ロボットは床の種類を認識し、カーペットを検知すると自動的にモップを持ち上げます。長毛カーペットや、繊維の長さが9 mm を超えるカーペットの上でロボットを使用しないでください。清掃中は、繊維の長さが9 mm を超える長毛カーペット折りたたむか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界線を設定し、そのエリアを進入禁止エリアに設定することをおすすめします。

初めて清掃の前に、ロボットがステーションに置かれ、フル充電されていることを確認してください。ロボットの  をタップして開始します。ECOVACS HOME アプリを使って起動することもできます。



注：

- 洗えるモップパッドは頻繁に取り外さないでください。
- モップパッドホルダーを布やその他の物で擦らないでください。
- アプリの指示に従い、適切なタイミングでモップパッドを交換してください。
その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> でご確認ください。

3. 一時停止

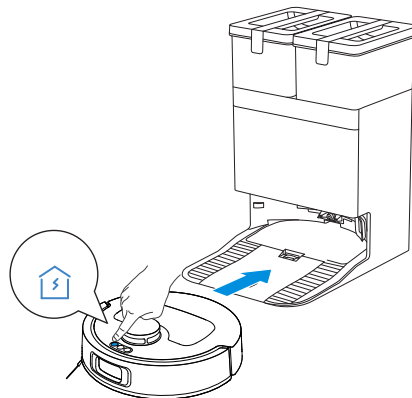
ロボットの  をタップすると、動作中のロボットが一時停止します。ECOVACS HOME アプリでロボットを一時停止することもできます。

4. 復帰

一時停止してしばらくすると、ロボットのすべての表示ランプが消灯します。ロボットを復帰させるには、 を押してください。

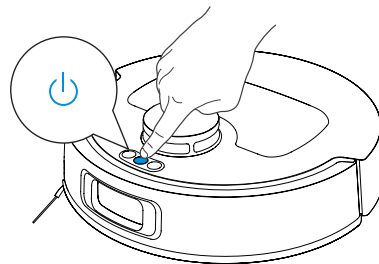
5. ステーションに戻る

ECOVACS HOME アプリでロボットを呼び戻すか、本体の  ボタンを押して、充電のためにステーションへ戻します。



6. 深いスリープモード

ロボットは、ステーションの外に約 10 時間留まると、バッテリー保護のために深いスリープモードに入ります。ロボットを復帰させるには、電源を一度オフにしてからオンにしてください。



定期的なメンテナンス

① メンテナンス頻度

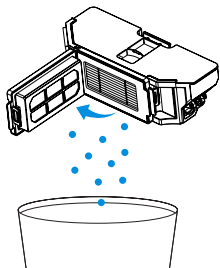
ロボットの性能を最適な状態に保つため、次の頻度でメンテナンスおよび部品交換を行ってください。

ロボットの部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるモップパッド	/	1～2ヵ月ごと
ダストバッグ	/	アプリから通知されたとき
サイドブラシ	2週ごと	3～6ヵ月ごと
メインブラシ	毎週	6～12ヵ月ごと
フィルター	毎週	3～6ヵ月ごと
エッジセンサー キャスター 落下防止センサー バンパー ロボットの充電端子 OMNI ステーションの充電端子 ナビゲーションモジュール 障害物回避モジュール	およそ毎月	/
清水タンク	3ヵ月ごと	/
汚水タンク	毎月	/
集塵ボックス	毎月	/
ステーション本体と底部	毎月	/

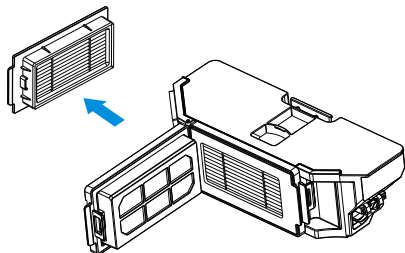
注: その他のアクセサリについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> でご確認ください。

② ダストボックスとフィルターのお手入れ

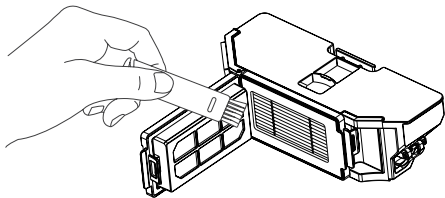
1. カバーを開けて、ダストボックスを空にします。



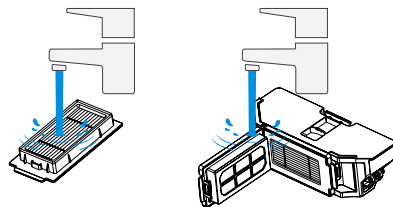
2. フィルターネットを開いて、フィルターを取り外します。



3. フィルターネットの両面のほこりを取り除きます。



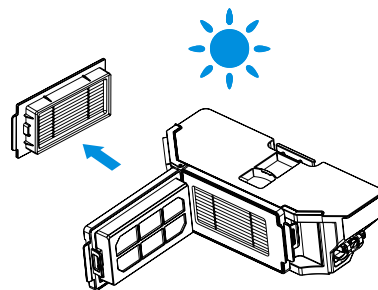
4. ダストボックスとフィルターを水ですすぎ、水滴を振り落とします。



注：

- 上記のように、フィルターを水ですすいでください。
- フィルターの清掃に指やブラシを使用しないでください。

5. 自然乾燥させます。



注：

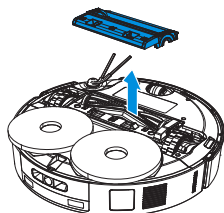
- 使用前にフィルターを完全に乾かしてください。

③ メインブラシとサイドブラシのお手入れ

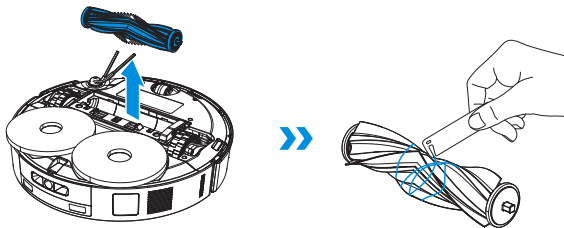
注：その他のアクセサリについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> でご確認ください。

ローラーブラシの清掃

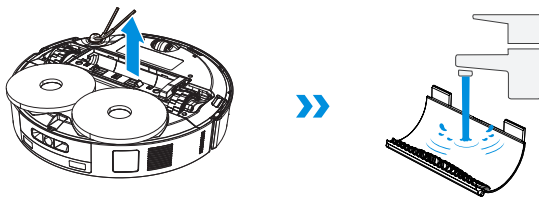
1. カバーを開けます。



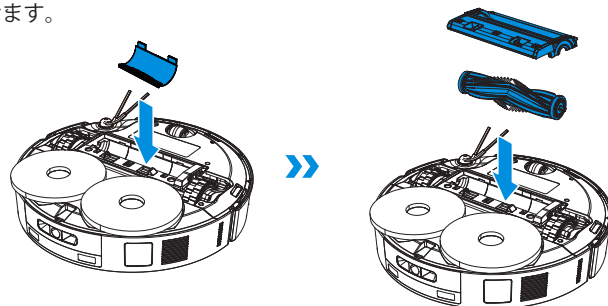
2. メインブラシを取り外して清掃します。



3. ブラシコームを取り外し洗浄し、水気を拭き取ります。

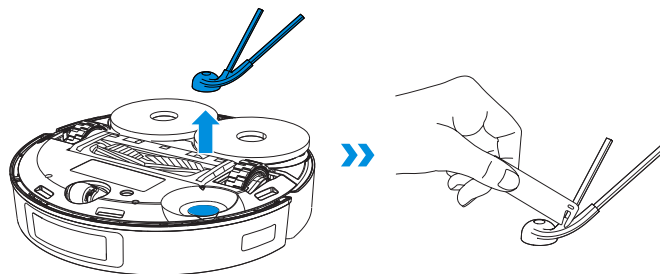


4. ブラシコーム、メインブラシ、およびメインブラシカバーを取り付けます。



サイドブラシの清掃

1. サイドブラシを取り外して清掃します。

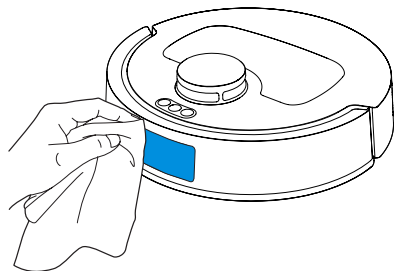


④ その他の部品のお手入れ

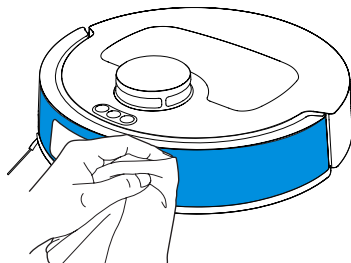
注：その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOMEアプリまたは <https://www.ecovacs.com> でご確認ください。

- 部品はきれいな乾いた布クロスで拭いてください。濡れたクロスは絶対に使用しないでください。洗浄スプレーや洗剤は使用しないでください。
- 充電端子には繊細な電子部品が含まれています。乾いた布クロスで拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れたクロスは使用しないでください。

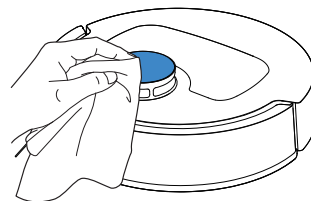
障害物回避モジュールの清掃



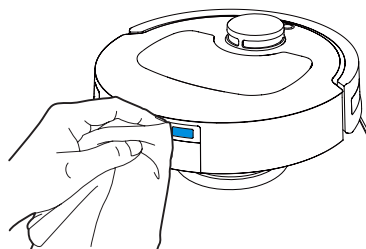
バンパーの清掃



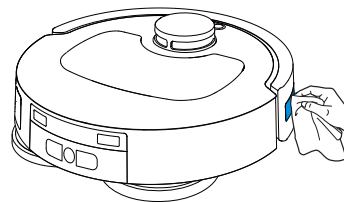
ナビゲーションモジュールの清掃



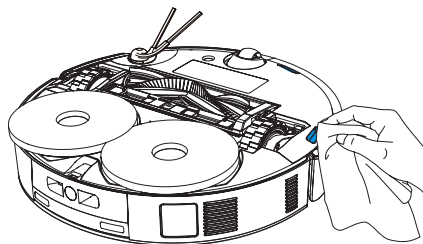
充電端子の清掃



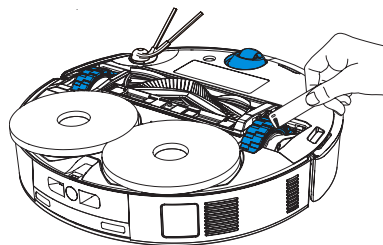
エッジセンサーの清掃



落下防止センサーの清掃

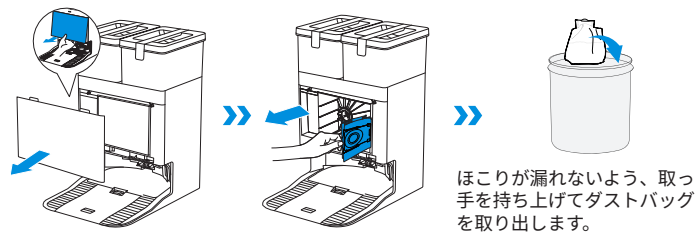


キャスターと駆動輪の清掃

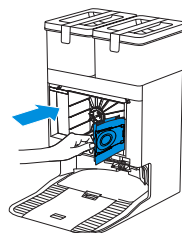


⑤ ダストボックスのメンテナンス

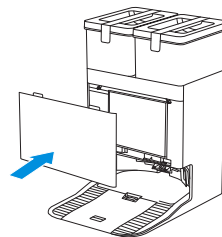
1. ダストバッグを捨てます。



2. 集塵ボックスを乾いた布クロスで拭き、新しいダストバッグを取り付けます。

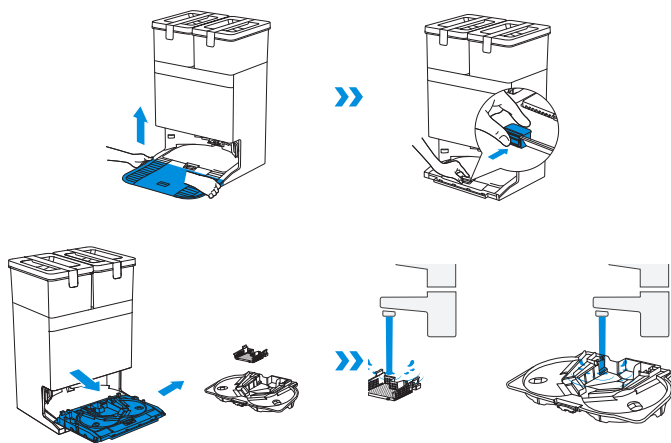


3. 集塵ボックスカバーの上部を溝に挿入し、押さえてしっかりと閉めます。

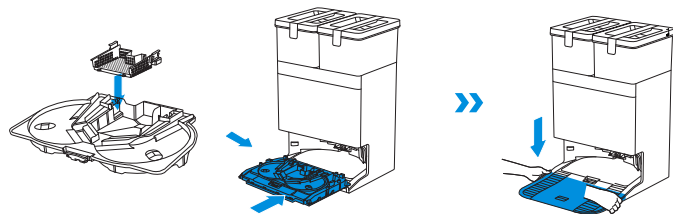


⑥ モップ洗浄トレイのお手入れ

1. ベースとモップ洗浄トレイを取り外し、清掃します。



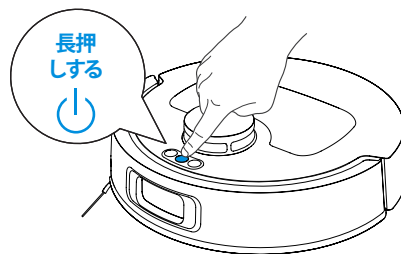
2. 清掃したベースとモップ洗浄トレイを取り付けます。



注：スムーズな動作のため、モップ洗浄トレイを正しく取り付けてください。

⑦ 保管

保管する前に、ロボットをフル充電にしてから電源をオフにしてください。ロボットをステーションに戻してから、[icon] を 3 秒間長押しして、ロボットの電源をオフにします。バッテリーの過放電を防ぐため、1.5 ヶ月ごとに再充電してください。



! ロボットは電源がオフになっていると充電できません。

- * ロボットを使用していないときは、電源をオンにしたまま充電しておくことをおすすめします。
- * バッテリーが過放電している場合や、ロボットを長期間使用していない場合、充電できなくなることがあります。カスタマーケアまでお問い合わせください。ご自分で分解しないでください。

トラブルシューティング

製品の使用中に以下のような状況が発生した場合は、下表の対処方法を参照してください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
1	ロボットが ECOVACS HOME アプリに接続できません。	入力した Wi-Fi 名またはパスワードが間違っています。	正しい Wi-Fi ユーザー名とパスワードを入力してください。
		ロボットが Wi-Fi の電波範囲外にあります。	ロボットがご自宅の Wi-Fi 電波の範囲内にあることを確認してください。できるだけルーターの近くに設置してください。
		ロボットが設定状態になっていません。	リセットボタンを押し、音声ガイドンスが流れたら、ロボットは設定モードに入ります。ネットワーク設定に失敗した場合は、アプリの指示に従ってネットワークを再設定してください。
		Wi-Fi リストにご自宅の Wi-Fi がありません。	1. Wi-Fi 名に特殊文字が含まれていないか確認してください。次のような特殊文字は使用できません。!@#&%¥%^ 2. 5 GHz ネットワークは使用しないでください。
		誤ったアプリがインストールされています。	ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてインストールしてください。
		2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用していません。	ロボットは 5 GHz ネットワークに対応していません。2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用してください。
2	マップデータがなくなる。	清掃中にロボットを移動すると、マップが失われることがあります。	マップを復元するには、ロボットをステーションの前に移動してください。保存されたマップをマップ管理で探し、「このマップを使用する」をタップして復元します。それでも問題が解決しない場合は、マッピングを再度開始してください。
		清掃中にロボットを移動すると、マップが失われることがあります。	清掃中は、できるだけロボットを移動しないでください。
		自動清掃が完了していません。	清掃後にロボットが自動的にステーションへ戻ることを確認します。
3	アプリでマップを作成できない。	清掃中にロボットを移動すると、マップが失われることがあります。	清掃中はロボットを移動しないでください。
		自動清掃が完了していません。	清掃後にロボットが自動的にステーションへ戻ることを確認します。
4	サイドブラシが外れます。	サイドブラシが正しく取り付けられていません。	サイドブラシを取り付ける際は、「カチッ」という音がして正しく取り付けられたことを確認してください。
5	信号が見つかりません。ロボットがステーションに戻るできません。	ステーションが正しく設置されていません。	[ロボットの電源オンと充電] セクションの指示に従って、ステーションを正しく置いてください。
		ステーションの電源が切れているか、移動されています。	ステーションが電源に接続されているか確認してください。ステーションを動かさないでください。
		ロボットがステーションから清掃を開始していません。	ロボットがステーションから清掃を開始することをおすすめします。
		充電経路がブロックされています。たとえば、ステーションがある部屋のドアが閉まっている場合などです。	充電経路に障害物がないようにしてください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
6	ロボットが清掃を完了する前にステーションに戻ります。	部屋が広すぎるため、ロボットは充電のためにステーションへ戻る必要があります。	中断後再開清掃機能を有効にしてください。詳しくは、アプリの指示に従ってください。
		家具や囲いで遮られていて、ロボットが到達できない場所があります。	家具や日用品を適切な位置に置いて、清掃する場所を片付けてください。
7	ロボットが充電できません。	ロボットの充電端子がステーションの充電端子に接続していません。	ロボットの充電端子がステーションの充電端子に接続し、本体の  ボタンが点滅していることを確認してください。ロボットとステーションの充電端子が汚れていないか確認してください。[メンテナンス]セクションに従って清掃してください。
		ステーションが電源に接続されていません。	ステーションが電源に接続されているか確認してください。
		ベースが正しく取り付けられていません。	[クイックスタート]のセクションを参照して、正しく取り付けてください。
		ロボットを長期間使用しないと、バッテリーが過放電状態になります。	ロボットを定期的に使用することをおすすめします。長期間使用していなかったためにバッテリーを充電できない場合は、カスタマーケアまでお問い合わせください。
8	清掃中に大きな音がします。	メインブラシ/サイドブラシが絡まっているか、ダストボックス/フィルターが詰まっています。	メインブラシ、サイドブラシ、ダストボックス、フィルターなどを定期的に清掃することをおすすめします。
		ロボットが最大モードになっています。	標準モードに切り替えてください。
9	ロボットが作業中に動けなくなって停止する。	ロボットが床上の物（ケーブル、カーテン、カーペットの房飾りなど）に絡まっています。	ロボットは様々な方法で脱出を試みます。失敗した場合は、手で障害物を取り除いて再起動してください。
		ロボットが、同じような高さの入り口がある家具の下で動けなくなっているかもしれません。	物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想壁を設定してください。
		ロボットが狭いエリアで動けなくなっています。	ご自宅を片付けるか、物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界線を設定してください。
10	ロボットの移動ルートが乱れる、動きが偏る、同じ場所を繰り返し走行する、小さなエリアを清掃し残すなどの問題が発生します。（ただし、ロボットが一時的に広いエリアを清掃し残した場合は、自動的にそのエリアに戻り、しっかり清掃します。）	床上のケーブルやスリッパなどの物が、ロボットの正常な動作に影響を与えます。	清掃前に、床に散らばった電線やスリッパなどの物をできるだけ片付けてください。清掃し残したエリアがある場合、ロボットはそのエリアに戻り、しっかり清掃します。ロボットを移動したり、移動ルートを遮ったりしないでください。
		ロボットが階段、敷居、ドアストリップなどに乗り上げると、駆動輪が床面でスリップし、家全体を走行する性能に影響することがあります。	影響のある部屋の扉を閉め、別に清掃することをおすすめします。清掃後、ロボットは開始位置に戻ります。この方法を使用すると確実に清掃できます。
		ワックスをかけたり磨いたりしたばかりの床や、滑りやすいタイルの上では、駆動輪と床の間の摩擦が少なくなることがあります。	床用ワックスが乾くのを待ってから清掃してください。
		室内環境によって、清掃できない場所もあります。	ロボットが清掃エリアに入れるように、家の中を片付けてください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
11	ロボットがステーションに戻っても、ダストボックスのゴミを排出しません。	集塵ボックスが閉まっていません。	集塵ボックスを閉めてください。
		ECOVACS HOME アプリで集塵機能がオンになっていません。	ECOVACS HOME アプリで自動集塵機能をオンにしてください。
		ステーションにダストバッグが取り付けられていません。	ダストバッグを正しく取り付けて、集塵ボックスを閉めてください。
		ロボットを手動でステーションに戻すと、自動集塵機能が作動しない場合があります。	ロボットが自動でステーションに戻るをすることをおすすめします。手動で動かさないでください。
		おやすみモードとき、ロボットはステーションに戻ってもダストボックスからゴミを排出しません。	ECOVACS HOME アプリでおやすみモードをキャンセルするか、手動でゴミを排出してください。
		上記の原因に該当しない場合は、ステーションの部品に異常がある可能性があります。	カスタマーケアまでお問い合わせください。
12	ロボットがダストボックスからゴミを排出しません。	OMNI ステーションが集塵効率の低下を検出しています。	[定期的なメンテナンス]のセクションに従ってダストバッグを交換し、集塵ボックスを閉めてください。ダストバッグがいっぱいになっていない場合は、取り外してから再び取り付けることができます。
		ダスト排出口に異物が詰まっています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口から異物を取り除いてください。
13	集塵ボックスの内側が汚れています。	微粒子は集塵ボックスの内側でダストバッグを通して吸収されます。	集塵ボックスの内側を清掃してください。
		ダストバッグが破れています。	ダストバッグを確認し、交換してください。
14	ロボットの動作中にほこりが漏れます。	ダスト排出口に異物が詰まっています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口から異物を取り除いてください。
15	モップパッドホルダーが回転しません。	モップパッドホルダーが正しく取り付けられていません。	モップパッドホルダーを正しく取り付けてください。モップパッドアセンブリーを取り付け用スロットに、「カチッ」という音がするまで押し込んでください。
		モップパッドホルダーが異物でふさがれています。	異物を取り除いてください。
16	ロボットがステーションからの指示に応答しません。	ロボットがステーションから離れすぎています。	ロボットが通信可能範囲内にない場合は、ECOVACS HOME アプリでロボットを操作することもできます。
		ロボットとステーションがペアリングされていません。	ステーションの電源プラグを抜き、10 秒待ってから再度差し込んでください。ロボットの電源をオフにしてから、再度オンにしてください。手動でロボットをステーションに戻し、充電端子が正しく接触していることを確認します。ロボットの充電が開始され、ペアリングが成功すると音声ガイダンスが流れます。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
17	駆動輪が動きません。	駆動輪に異物が絡まっているか詰まっています。	駆動輪を回しながら押し確認し、絡まったり詰まったりしている異物を取り除いてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーケアまでお問い合わせください。
18	モップ洗浄トレイの水がいっぱいになり、排水できない。	汚水タンクが正しく取り付けられていません。	汚水タンクを軽く押し下げ、正しく取り付けられていることを確認してください。
		汚水タンクの密閉キャップが正しく取り付けられていません。	両方の密閉キャップが正しく取り付けられていることを確認してください。
		ステーションが正常に排水できません。	 を長押しして、ステーションが正常に排水するか確認してください。モップパッドの洗浄中に問題が発生した場合、アプリで作業を終了し、  を長押しして、ステーションが正常に排水するか確認してください。正常に排水されたら、モップ洗浄トレイの溢水センサーを乾拭きしてください。ステーションが排水できない場合は、汚水タンクとステーションの間に異物がないか確認し、異物を取り除いてください。
		モップ洗浄トレイの吸引口が異物でふさがれています。	モップ洗浄トレイの吸引口に異物がないことを確認してください。
		モップ洗浄トレイが汚れています。	モップ洗浄トレイを取り出し、清水ですすいでください。
		モップ洗浄トレイに水がない場合は、フロートが引っかかって正しい位置まで下がらなくなっていないか確認してください。	モップ洗浄トレイを取り外し、フロートを正しい位置にしてください。
		上記の対処方法を試しても、問題が解決しません。	ステーションのプラグを抜き、再度差し込んでください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーケアまでお問い合わせください。
19	モップパッドホルダーが自動的に持ち上がりません。	モップパッドホルダーに異物が絡まっている、または詰まっています。	異物を取り除いてください。
		モップパッドホルダーが外れています。	モップパッドホルダーを元通りに取り付け、「カチッ」という音がしてモップホルダーが正しく取り付けられたことを確認してください。

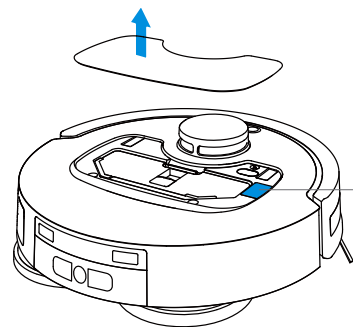
技術仕様

型番	DLX88		
定格入力	20 V $\approx$ 2 A	充電時間	約 4.5 時間
ステーションモデル	CH2471B		
定格入力	100V $\sim$ 50-60Hz	定格出力	20 V $\approx$ 2 A
定格入力電流（充電時）	1A	電力（ゴミ収集時）	4.5A
電力（乾燥）	1A		
周波数帯	2400-2483.5 MHz		
ネットワークスタンバイ電力	2.00 W 未満		

無線モジュールの出力電力は 100 mW 未満です。

注：継続的な製品改良のため、技術仕様および設計仕様は変更される場合があります。

その他のアクセサリーについては、<https://www.ecovacs.com> をご参照ください。



モバイルカメラで QR コードをスキャンして、ユーザーガイドを入手してください。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance can be used by children aged from 8 years and above and persons with reduced physical, sensory, or mental capabilities or lack of experience and knowledge if they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance in a safe way and understand the hazards involved. Children shall not play with the Appliance. Cleaning and user maintenance shall not be made by children without supervision.
2. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance.
3. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial, or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
11. Do not use and store in extremely hot or cold environments (below -5°C /23°F or above 40°C/104°F). Please charge the robot in temperature above 0°C/32°F and below 40°C/104°F.

12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper, or any item that may clog the Appliance.
14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
19. The lithium battery type suitable for CH2471B is Max. 8 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 4,800mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
24. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord

- as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
27. Do not use the OMNI Station if it is damaged. The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.
 28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid hazards.
 29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
 30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
 31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
 32. If the robot will not be used for a long time,

power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.

33. **WARNING**-Add clean water into the clean tank only.

34. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2471B provided with the Appliance.

To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

To check the current software version and enable automatic updates, go to Settings > Robot Advanced Settings > About Your Robot > Update

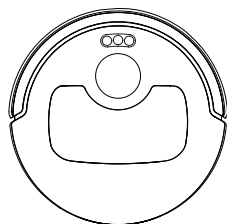
in the app. The current version is displayed there; tap Update to enter the page and select Automatic Update to enable it.

	Caution: hot surface
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link

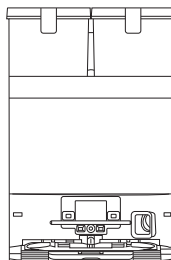
The remote surveillance is for the absolute private use of non-public, private owned places for the pure self-protection and single control intended only. Please be aware of the local data protection based legal obligations in case of use. No surveillance of public places, especially with clandestine intent and/or on the part of the employer without justified reasons. Such not justified use is in the risk and responsibility of the user only.

PACKAGE COMPONENTS

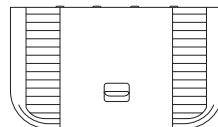
1 PACKAGE CONTENTS



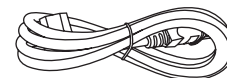
Robot



OMNI Station



Base



Power Cord



Side Brush

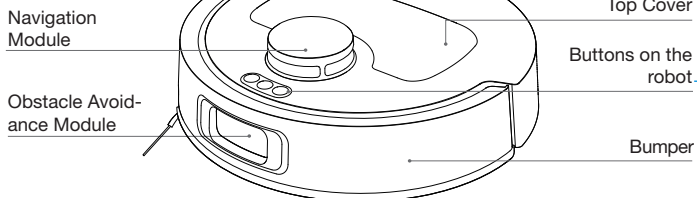


Instruction Manual

* Figures in this manual are for reference only and may differ from the appliance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

2 PRODUCT DIAGRAM

Robot



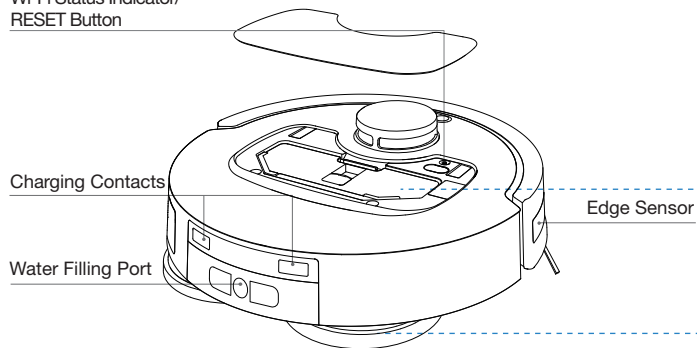
Buttons

- Press: Return to the station (Robot not in the station) Press and hold: Self-Cleaning
- Press: Toggle Start/Pause/Continue Press and hold: Power on/Power off
- Press: Start/End spot cleaning Press and hold: Activate/Deactivate the child lock

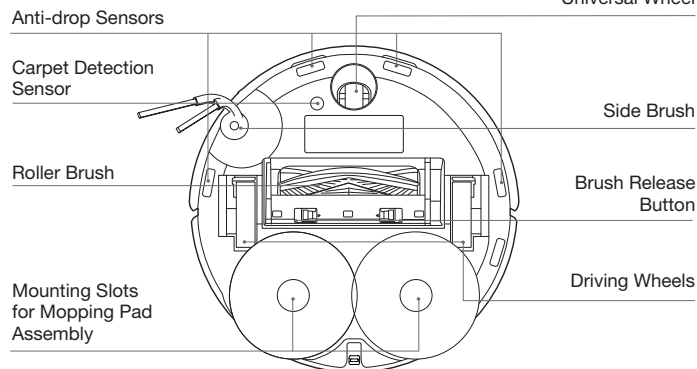
Inside the Robot (Under the Top Cover)

RESET Button
Network Setup: Press the RESET button, and you will hear a voice prompt to connect the robot with the APP.
Restore Default Settings: Press the RESET button and hold for 5 s. After you hear the voice prompt, the startup music will play, and the robot will be restored to the default settings.

Wi-Fi Status Indicator/
 RESET Button

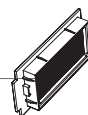


Bottom Back View

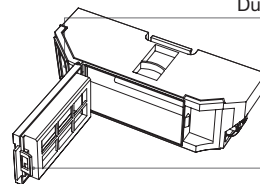


Dust Bin

Filter



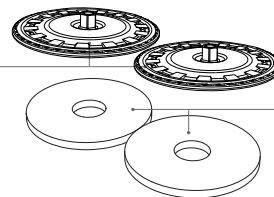
Dust Disposal Port



Release Button

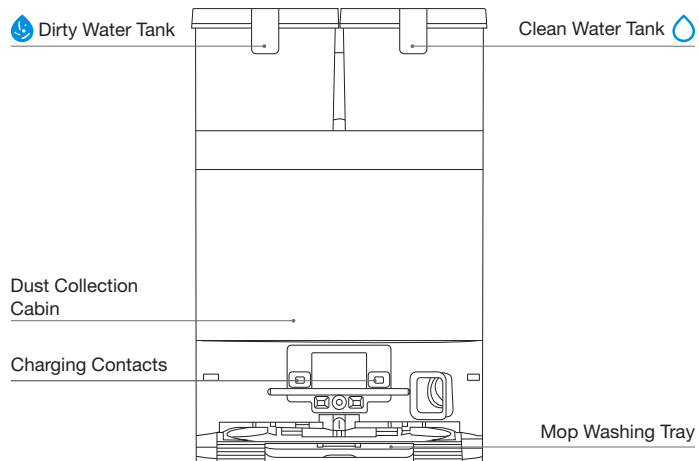
Mopping Pad Assembly

Mopping Pad Plates



Washable Mopping Pads

OMNI Station

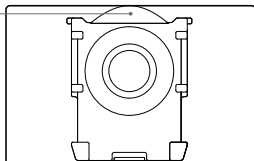


Note:

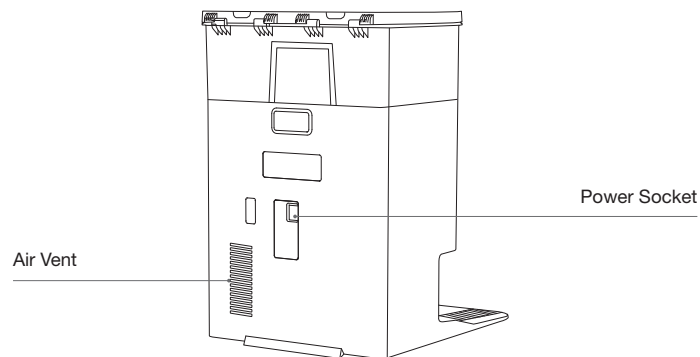
- If the robot fails to charge, please wipe charging contacts with a clean and dry cloth.

Dust Bag

Dust Bag Handle



OMNI Station (Back)



3 Indicator Light

	Light Effect	State
Robot	Breathing White	Charging
	Solid White	Fully Charged/Running
	Solid Red	Low Battery
	Flashing Red	Robot Alarm
	Breathing Red	Station Alarm

4 Sensors Overview

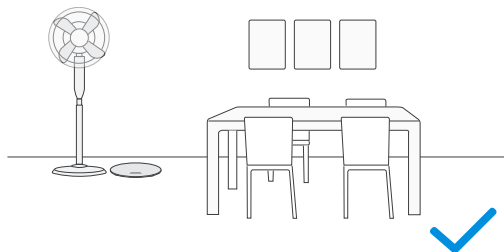
Name	Functional Description
Navigation Module	Laser Ranging is applied to measure the distance between the robot and surrounding objects based on the time difference of reflection, allowing the module to map against the objects around while the robot is moving. The detection range is 8 m.
Obstacle Avoidance Module	Laser Ranging and triangulation are used to measure the distance between the robot and surrounding obstacles. The sensor emits laser beams and receives the reflected light from obstacles ahead. When an obstacle is detected within close range, the robot automatically turns to avoid it. The detection range is 0.3 meters.
Anti-drop Sensors	With Infrared Ranging, the distance between the robot's bottom and the ground is detected by the infrared sensors at the bottom. The robot will not move forward when there are stairs in front (such as when the height of the white surface is 55 mm or more, or the height of the black surface is 30 mm or more) and the identified exceeds the preset one, enabling the Anti-drop function.
Carpet Detection Sensor	The sensor emits 300 kHz ultrasound, which energy will be absorbed by the carpet, causing the echoed energy to be lower than the threshold. The robot thereby detects the carpet's presence. In the ECOVACS laboratory, more than 50 types of carpets available on the market are identified.
Anti-collision Sensor	With the principle of the Optocoupler Switch, the robot will avoid obstacles when they are about to collide.
Edge Sensor	With Infrared Ranging, the edge sensor detects the distance between the robot and objects on the side. When there is a wall or obstacles on the right, the robot performs edge cleaning to avoid missing any spots and prevent collisions.

INITIAL SETUP AND USE

1 Notes Before Cleaning

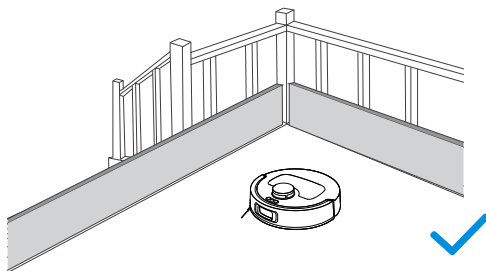
Tidy up the Area to be Cleaned

For the maximum cleaning area possible, before using the robot, please put furniture, such as tables, chairs, and pedestal fans, in their proper place and put away low-lying items, such as weight scales.



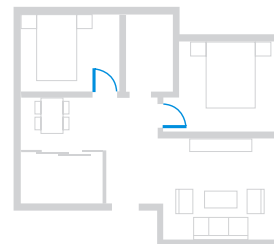
Prevent robot from Falling

Place a physical barrier at the edge of a drop, such as staircases and steps, to stop the robot from falling over the edge.



Open Doors and Help robot Explore

Open all room doors to help the robot fully explore your house during the first cleaning.



To improve cleaning efficiency, please remove objects, including cables, clothes, and slippers, from the floor.



Before using the product on a carpet with tasseled edges, please fold the tassels under the carpet.



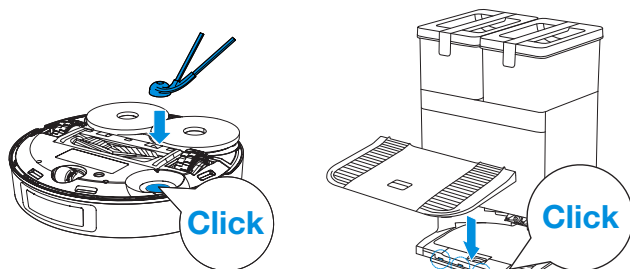
Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, to avoid blocking TrueMapping.

2 Quick Start

Remove all protective materials before using.

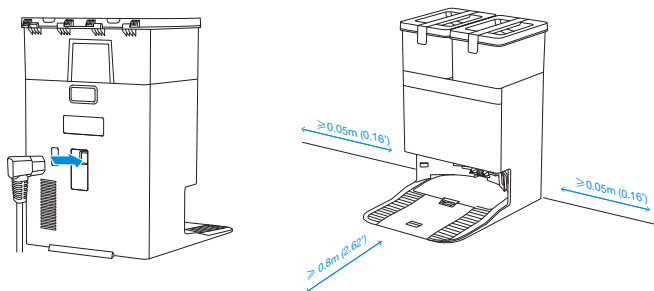
1. Installation

The sound of “click” indicates proper installation.



2. Assemble and Place the Station

Place the OMNI Station against a flat, hard surface. Do not place items within 0.05 meters on either side and 0.8 meters in front.

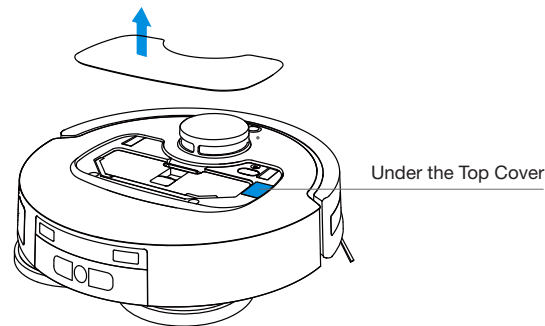


- If there are reflective objects such as mirrors and reflective skirting lines near the Station, the bottom 14 cm of such objects should be covered.
- Do not place the Station under direct sunlight.
- Place the station in a location with a strong Wi-Fi signal for better user experience.
- Do not use the appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
- Do not wipe the robot and the station with a damp cloth or use any liquid.

3 Download the ECOVACS HOME APP

To enjoy all available features, it is recommended that you control your robot via the ECOVACS HOME App.

1. Scan the QR Code under the Top Cover to download the App.



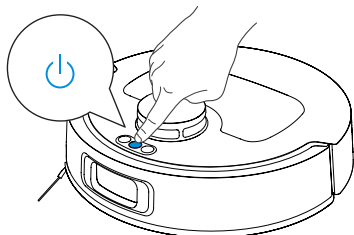
2. Search “ECOVACS HOME” on the App Store or Google Play to download the App.



Note: Follow the instructions on the App to complete the registration, login, and connection.

4 Power on Robot

1. Turn on the power switch and place the robot in front of the station that is connected to power supply.



5 Connect robot with APP

Name	Description
Infrared interface	The infrared interface is turned off by default, and it is activated when the robot is in the charging station. When the DEEBOT is in the charging station, it will communicate with the charging station through the infrared interface.
WI-FI*	Facilitate data transfer between the app and the robot, enabling control of the robot through the app.
ECOVACS HOME App	ECOVACS products offer smart functions such as network setup, mapping, and cleaning mode selection (specific to each product). To utilize these features, users need to download and use the official ECOVACS Home App.

• The robot series robotic vacuums are designed for domestic cleaning scenarios. A home Wi-Fi network is required for operation, and anti-DDoS protection can be configured by users through route settings.

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 use TKIP, PSK, and AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you use a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as your primary network.
- Please enable WPA2 on your router.

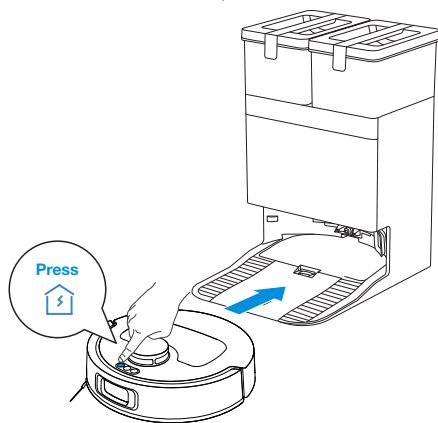
Wi-Fi Indicator Light

	Slow flashing white light	Disconnected from Wi-Fi
	Fast flashing white light	Connecting
	Steady white light	Connected to Wi-Fi

Please be aware that intelligent features such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on the Appliance) require the ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement so that we can process some of your essential and necessary information before you can use certain features of the ECOVACS HOME App to control the Appliance. If you disagree with our Privacy Policy and User Agreement, such features will be unavailable. However, you can still use the basic features of this Appliance for manual operation.

6 Power on and Charge the robot

Use the ECOVACS HOME App to recall the robot, or press  on the robot to allow it to dock for charging.

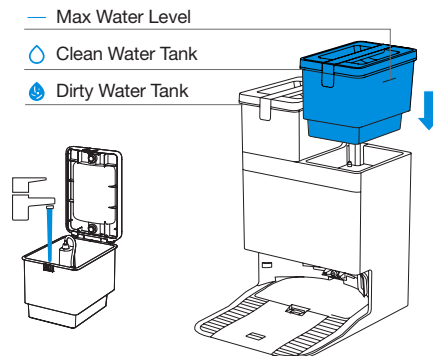


Note:

- When the robot is not in use, keep it powered on and charging.
- It is recommended to start cleaning from the station. Do not move the station while cleaning.

7 Fill the Clean Water Tank

Take out the clean water tank, open the tank cover, and fill the tank with water up to the maximum water level. Close the tank cover and re-install the clean water tank.



Note:

- Use a clean, dry cloth to wipe off any water on the surface of the tank before placing it in position.
- Make sure to lock the top covers of both water tanks securely before use.
- Any water marks in the water tanks are from function testing. Please use it with confidence.

8 Operate the robot

1. Start Mapping

When creating a map for the first time, please follow the robot to help resolve some minor issues.

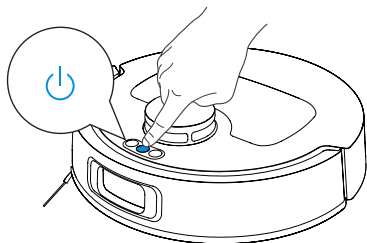
For example, the robot may get stuck under furniture. Please refer to the following solutions:

- ① Raise the low-sitting furniture if possible;
- ② Cover the bottom of the furniture;
- ③ Set up a virtual boundary via the App.

2. Start Cleaning

- The robot's water tank is automatically refilled through the station. Manual refilling is not needed.
- When mopping, the robot will recognize floor types and is able to lift mops automatically when encountering carpets. Please do not use the robot on shaggy rugs or carpets with fibres longer than 9 mm. It is recommended to fold up the shaggy rugs with fibres longer than 9 mm during the cleaning process, or set the shaggy carpeted area as a no-entry zone by setting virtual boundary in the ECOVACS HOME App.

Please ensure that the robot is in the station and is fully charged before cleaning for the first time. Tap  on the robot to start. You can also use the ECOVACS HOME App to start.



Note:

- Do not frequently remove washable mopping pads.
- Do not scratch the mopping pad plates with a rag or other objects.
- Replace the mopping pads in time as prompted by the App. Explore more accessories in the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

3. Pause

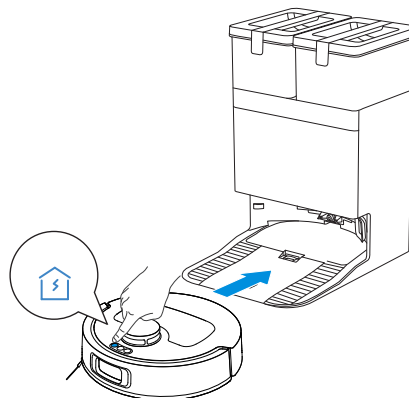
Tap  on the robot to pause it while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App to pause the robot.

4. Wake up

After pausing for a while, all indicator lights on the robot will go out. To wake up the robot, press .

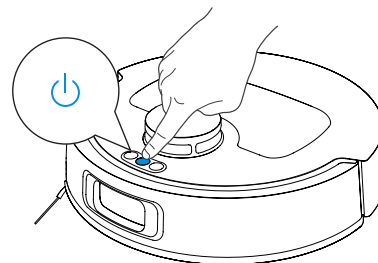
5. Back to Station

Use the ECOVACS HOME App to recall the robot, or press the  button on the robot to allow the robot to dock for charging.



6. Deep Sleep Mode

The robot will enter deep sleep mode if it stays outside the station for about 10 h to protect the battery. Please switch OFF and ON to wake the robot up.



REGULAR MAINTENANCE

① Maintenance Frequency

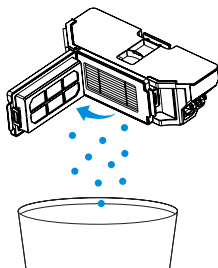
To keep robot running at peak performance, perform maintenance and replace parts at the following frequencies:

Robot Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Mopping Pads	/	Every 1-2 months
Dust Bag	/	When App prompts
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Main Brush	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
Edge Sensor Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on robot Charging Contacts on OMNI Station Navigation Module Obstacle Avoidance Module	Approx. every month	/
Clean Water Tank	Every 3 months	/
Dirty Water Tank	Every month	/
Dust Collection Cabin	Every month	/
Body and Bottom of the Station	Every month	/

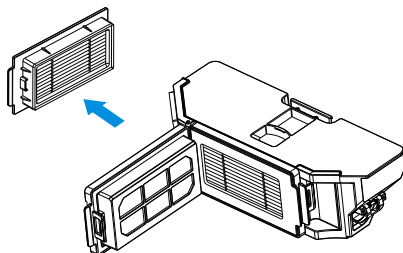
Note: Explore more accessories in the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

2 Maintain Dust Bin and Filter

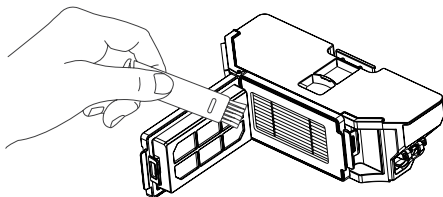
1. Open the cover and empty the bin.



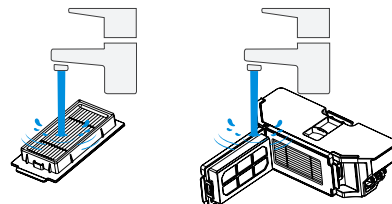
2. Open the filter net and remove the filter.



3. Clean the dust from both sides of the filter net.



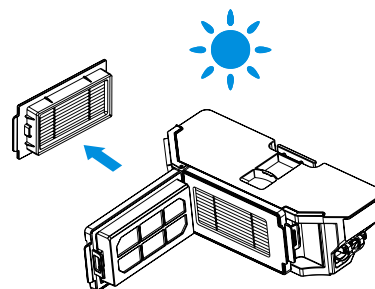
4. Rinse the dust bin and filter with water and shake off the water droplets.



Note:

- Please rinse the filter with water as shown.
- Do not use fingers or a brush to clean the filter.

5. Air dry.



Note:

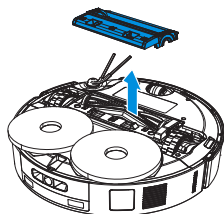
- Completely dry the filter before use.

3 Maintain Main Brush and Side Brush

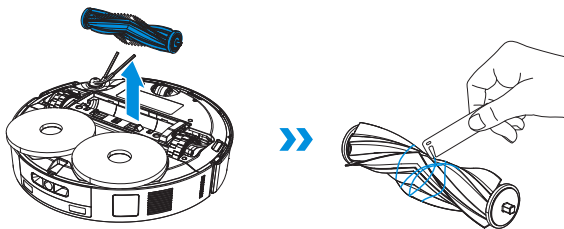
Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>

Clean the Roller Brush

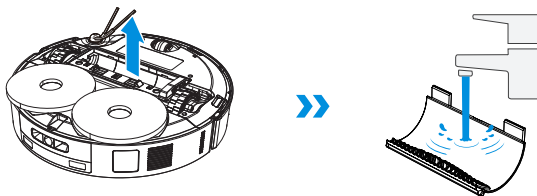
1. Open the cover.



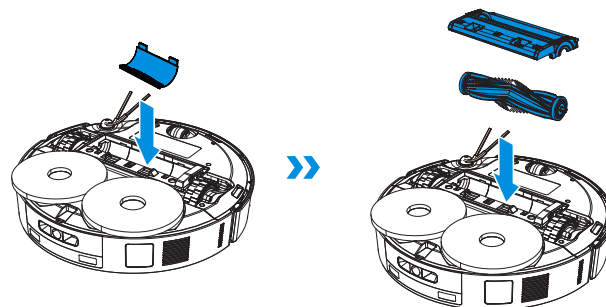
2. Remove and clean the main brush.



3. Remove the brush comb, clean it, then wipe it dry.

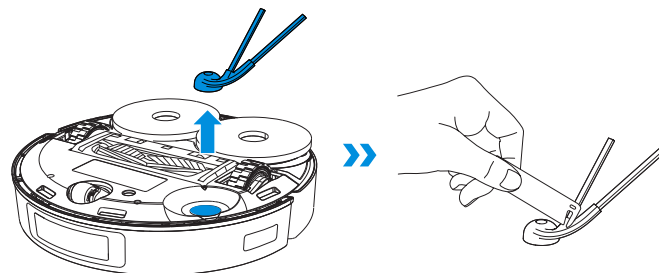


4. Install the brush comb, the main brush and the main brush cover.



Clean the Side Brush

1. Remove and clean the side brush.

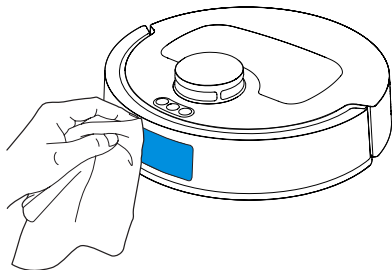


4 Maintain Other Components

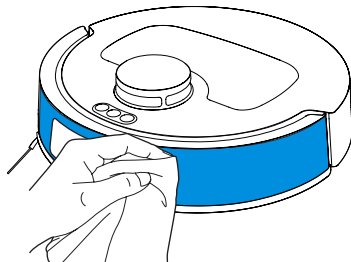
Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

- Wipe the components with a clean, dry cloth. Never use a wet cloth. Do not use cleaning sprays or detergents.
- Charging contacts contain sensitive electronic components. Clean them with a dry cloth. Do not use a wet cloth to prevent water damage.

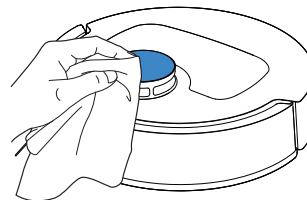
Clean the obstacle avoidance module



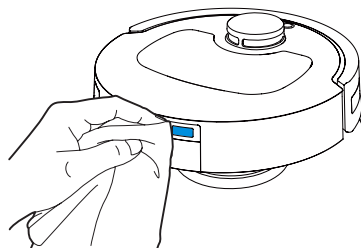
Clean the bumper



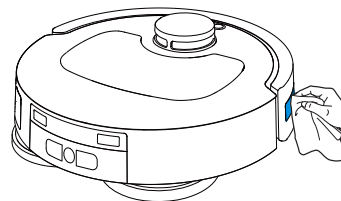
Clean the navigation module



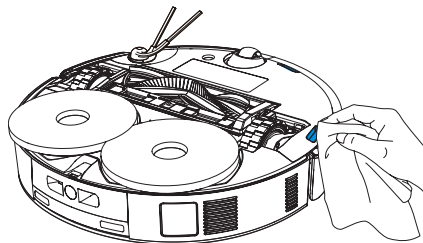
Clean the charging contacts



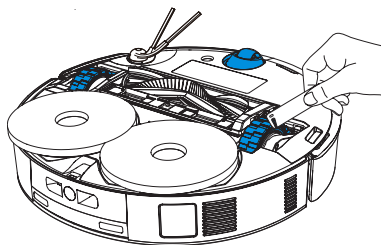
Clean the edge sensor



Clean the Anti-drop sensor

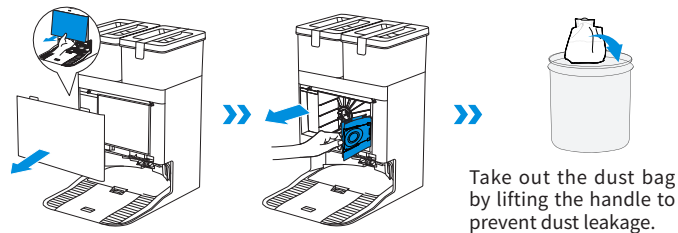


Clean the universal wheel and driving wheels

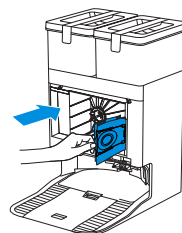


5 Maintain Dust Bin

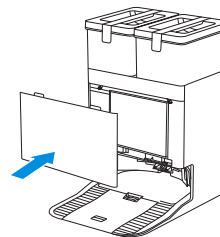
1. Discard the dust bag.



2. Clean the dust collection cabin with a dry cloth and put a new dust bag in.

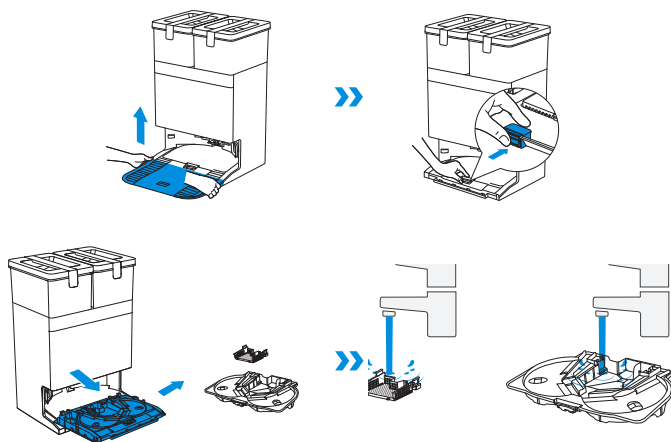


3. Insert the top of the dust collection cabin cover into the groove, and press it down to ensure it is closed.

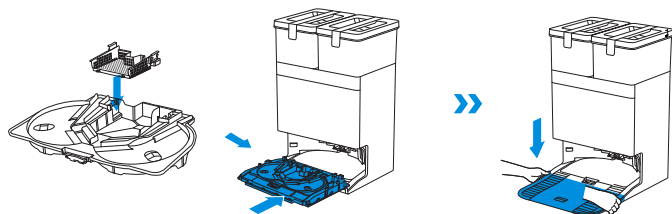


6 Maintain Mop Washing Tray

1. Take off the base and the mop washing tray and clean them.



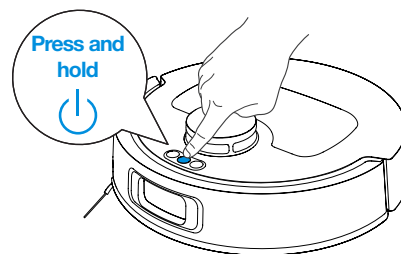
2. Install the cleaned base and mop washing tray.



Note: Please install the mop washing tray properly for smooth operation.

7 Storage

Please fully charge and power off the robot before storage. Place the robot back at the station before pressing and holding [icon] for 3 s to power off the robot. Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharging.



! The robot cannot be charged when it is powered off.

* When the robot is not working, it is recommended to keep it powered on and charging.

* If the battery is over-discharged or not used for a long time, the robot may not be able to be charged. Please contact Customer Care for help. Do not disassemble it by yourself.

TROUBLESHOOTING

If you encounter the following during Appliance use, please refer to the table below for solutions.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
1	The robot cannot connect with the ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi name or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		The robot is not within Wi-Fi signal coverage.	Make sure the robot is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the router as possible.
		The robot is not in the configuration state.	Press the RESET button, the robot will enter the configuration state when you hear a voice prompt. If the network configuration fails, reconfigure the network according to the prompts of the App.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	1. Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like ! @#& ¥%&#. 2. Do not use a 5 GHz network.
		Incorrect App installed.	Please download and install the ECOVACS HOME App.
		Not using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.	The robot does not support 5 GHz networks. Please use a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
2	Map lost.	The map may be lost if you move the robot when it is cleaning.	Move the robot to the front of the station to restore the map. Find the stored map in Map Management and tap "Use This Map" to restore it. If this problem persists, please restart mapping.
		Moving the robot when it is cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, try not to move the robot.
		Auto cleaning is not complete.	Make sure the robot automatically returns to the station after cleaning.
3	Unable to create a map in the App.	Moving the robot when cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move the robot.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure that the robot automatically returns to the station after cleaning.
4	The side brush fell off.	The side brush is not properly installed.	For proper installation, make sure you hear a "click" when installing the side brush.
5	No signal was found. The robot cannot return to the station.	The station is not properly placed.	Place the station properly according to the instructions in the [Power on and Charge robot] section.
		The station is out of power or moved.	Check whether the station is connected to a power supply. Do not move the station.
		The robot did not start cleaning from the station.	It is recommended that the robot start cleaning from the station.
		The charging route is blocked. For example, the door of the room in which the station is located is closed.	Keep the charging route clear of obstructions.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
6	The robot returns to the station before finishing cleaning.	The room is too large and the robot needs to return to the station for recharge.	Please enable Auto Resume. For more details, please follow the instructions on the app.
		The robot is unable to reach certain areas blocked by furniture or barriers.	Tidy up the area to be cleaned by putting furniture and small objects in proper places.
7	The robot cannot charge.	Charging contacts on the robot are not connected to those on the station.	Make sure that the robot's charging contacts are connected to the station's, and the  button on robot is flashing. Check whether the charging contacts on the robot and the station are dirty. Please clean them according to the [Maintenance] sections.
		The station is not connected to a power supply.	Make sure the station is connected to a power supply.
		The base is not properly installed.	Please refer to the [Quick Start] section to install it properly.
		The battery will be over-discharged if the robot is not used for a long time.	It is recommended to regularly use the robot. If the battery cannot be charged because it has not been used for a long time, please contact Customer Care for help.
8	Loud noises during cleaning.	The main brush/side brush is entangled, or the dust bin/filter is blocked.	It is recommended to clean the main brush, side brush, dust bin, filter, etc. regularly.
		The robot is in max mode.	Switch to standard mode.
9	The robot gets stuck while working and stops.	The robot is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	The robot will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove the obstacles and restart.
		The robot might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
		The robot is stuck in a narrow area.	Tidy up your home, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
10	The robot encounters issues like a disorderly route, biased movement, repeated passes over the same spots, and missing small areas. (However, if the robot temporarily misses a large area, it automatically returns to make sure it is thoroughly cleaned.)	Objects such as wires and slippers on the ground affect the robot's normal operation.	Before cleaning, please tidy up scattered wires, slippers, and other objects on the ground as much as possible. If there are any missing areas during cleaning, the robot will return to ensure they are thoroughly cleaned. Please do not intervene (such as moving the robot or blocking its route).
		The driving wheels may slip on the ground when the robot climbs steps, thresholds, and door bars, affecting its ability to navigate the entire house environment.	It is recommended to close the door of the affected area and clean the area separately. After cleaning, the robot will return to its starting location. Please feel assured to use this method.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the driving wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
		Due to variations in home environments, some areas cannot be cleaned.	Tidy up your home environment to ensure that the robot can enter for cleaning.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
11	The robot does not empty the dust bin after returning to the station.	Dust collection cabin is not closed.	Please close the dust collection cabin.
		The Auto-Empty function has not been turned on in the ECOVACS HOME App.	Turn on the Auto-Empty function in the ECOVACS HOME App.
		Dust bag is not installed in the station.	Install the dust bag, and close the dust collection cabin.
		Manually moving the robot back to the station might not trigger the auto-empty feature.	It is recommended to let the robot return to the station on its own. Please do not move it manually.
		In Do Not Disturb mode, the robot will not empty the dust bin after returning to the station.	Cancel Do Not Disturb mode in the ECOVACS HOME App or manually start dust emptying.
		If the above causes have been ruled out, it may be due to an abnormality in station components.	Please contact customer care for help.
12	The robot fails to empty the dust bin	The OMNI station detects a decrease in empty efficiency.	Replace the dust bag according to the [REGULAR MAINTENANCE] section and close the dust collection cabin. If the dust bag is not full, you can take it out and put it back in.
		The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust bin and remove foreign objects from the dust disposal port.
13	The inner side of the dust collection cabin is dirty.	Fine particles are absorbed in the inner side of the dust collection cabin through the dust bag.	Clean the inner side of the dust collection cabin.
		The dust bag is broken.	Check and replace the dust bag.
14	Dust leaks when the robot is working.	The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust bin and remove foreign objects from the dust disposal port.
15	Mopping pad plates cannot rotate.	The Mopping Pad Plates are not correctly installed.	Install the mopping pad plates properly. Press the mopping pad assembly into the mounting slots for mopping pad assembly until you hear a "click."
		The Mopping Pad Plates are blocked by foreign objects.	Please remove foreign objects.
16	The robot does not respond to the Station's instructions.	The robot is too far away from the station.	If the robot is not within the available distance, you can also use the ECOVACS HOME App to control the robot.
		The robot and the station are not paired.	Unplug the station and wait for 10 s before plugging it back in. Power off the robot and then turn it back on. Manually push it back to the station and ensure the charging contacts are properly connected. The robot will start charging, and a voice prompt will indicate successful pairing.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
17	The driving wheels are jammed.	The driving wheels are entangled or jammed by foreign objects.	Please rotate and press the driving wheels to check for and remove any foreign objects that are entangled or jammed. If this problem persists, please contact customer care for help.
18	The water in the mop washing tray is full and cannot be drained.	The Dirty Water Tank is not properly installed.	Gently press the dirty water tank down to ensure it is properly installed.
		The sealing plugs in the Dirty Water Tank are not installed properly.	Make sure that both sealing plugs are properly installed.
		The Station cannot drain water normally.	Press and hold  to see if the station drains water normally. If the problem occurs during the cleaning process for mopping pads, end the task via the App, and then press and hold  to see whether the station drains water properly. If water is successfully drained, wipe the water overflow sensor of the mop washing tray dry. If the Station fails to drain water, check between the dirty water tank and the station for foreign objects and remove them.
		The suction port of the Mop Washing Tray is blocked by foreign objects.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the Mop Washing Tray.
		Mop Washing Tray is dirty.	Take out the mop washing tray and rinse it with clean water.
		If there is no water in the mop washing tray, check if the float is stuck and fails to lower to its correct position.	Take out the mop washing tray and place the float in its correct position.
		The problem still exists after trying the above solutions.	Unplug the station and plug it in again. If this problem persists, please contact Customer Care for help.
19	Mopping pad plates cannot lift automatically.	Mopping pad plates are entangled or jammed by foreign objects.	Please remove foreign objects.
		Mopping pad plates fell off.	Reinstall the mopping pad plates and make sure you hear a "click" indicating the mopping pad plates are properly installed.

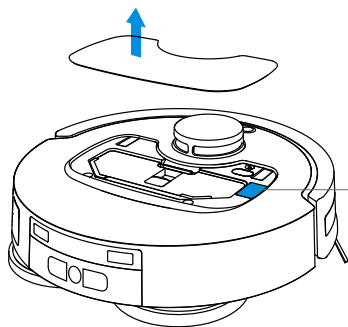
TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	DLX88		
Rated Input	20V $\approx$ 2A	Charging Time	about 4.5h
Station Model	CH2471B		
Rated Input	100V $\sim$ 50-60Hz	Rated Output	20V $\approx$ 2A
Rated Input Current(Charging)	1A	Power(Emptying)	4.5A
Power(Dry)	1A		
Frequency Bands	2400-2483.5MHz		
Networked Standby Power	Less than 2.00W		

Output power of the wireless module is less than 100mW.

Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.

Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com>.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.

No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

451-2575-3300